

配付資料4
都市計画課

RYOJI IKEDA

solo exhibition

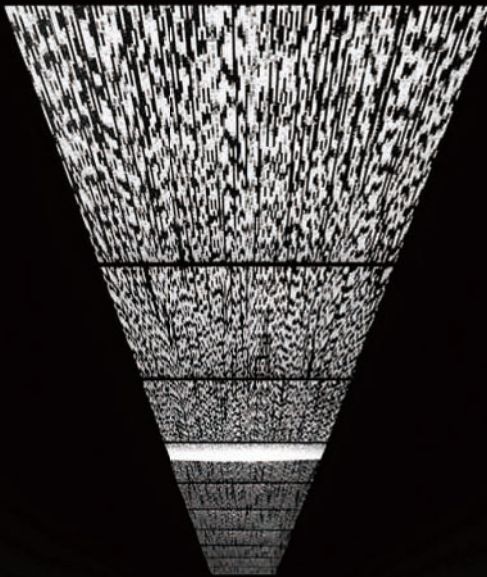
弘前れんが倉庫美術館
2022年度 展覧会 [春夏プログラム]

Hirosaki Museum of Contemporary Art
2022 Exhibition | Spring / Summer

池田亮司 展 | 2022.4.16^{Sat.}—8.28^{Sun.}

弘前れんが倉庫美術館

data.flux [n°1], 2020
Exhibition view at 180 The Strand, London, 2021
Photo: Jack Hems
©Ryoji Ikeda



2022年

4月16日 | 土 | -

8月28日 | 日 |

Sat, April 16 -

Sun, August 28,

2022

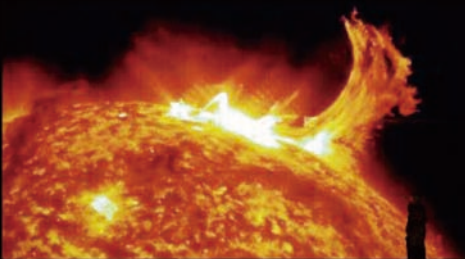
弘前れんが倉庫美術館
2022年度 展覧会 [春夏プログラム]

Hirosaki Museum of Contemporary Art
2022 Exhibition | Spring / Summer

RYOJI IKEDA | solo exhibition

池田亮司 展

フランス・パリと日本を拠点に国際的に活躍する作曲家／アーティストである池田亮司 (1966-) は、テクノロジーを駆使し、光や音を用いて鑑賞者の感覚を揺さぶる没入型の作品を数多く発表してきました。本展では、2009年以来となる国内美術館での大規模な個展として、新作を含む近年の池田の活動を展覧します。2000年以降、データを主題とする表現を模索し続ける池田は、とりわけDNA情報や素粒子、宇宙といった科学領域に関するデータに関心を持ち、自身の作品に取り入れてきました。そこでは、データを通じた世界のあらたな認識の方法が提示されています。国内初展示となる《data-verse 3》では、NASAをはじめ多くの科学機関によって一般に公開されたデータを収集し、加工、変換など様々な操作を経て視覚的な表現として構成された高解像度の映像作品が、展示室内に投影されます。視覚と聴覚で体感する作品は、普段は不可視であるがゆえに意識されない膨大なデータの世界へと、人々を引き込む鑑賞体験を生み出します。今回の展示では、建築にあわせて制作された「サイト・スペシフィック」な作品の展示を特徴とする当館の大空間において、各展示室の映像や音響が時に結びつきながら、空間と作品とが共鳴／共振します。本展を通して、約100年前に酒造工場として建造され美術館へと生まれ変わった当館の空間の持つ可能性を拡張し、この場所に創造性を喚起する作品の数々を体感いただく機会となります。



data-verse 3, 2020
Art Basel Unlimited, Basel, CH, 2021
©Ryoji Ikeda
Courtesy of the artist and Audemars Piguet



point of no return, 2018
Ryoji Ikeda solo exhibition, Taipei Fine Arts Museum, Taipei, TW, 2019
Photo: LU Kuo-wei ©TFAM
Courtesy of Taipei Fine Arts Museum

青森空港より
-車 約60分
-弘南バス (弘前バスターミナル行) 約55分「弘前駅」下車

JR東北新幹線 新青森駅より
-JR奥羽本線 約40分「弘前駅」下車

JR弘前駅より
-弘南バス・土手町循環100円バス 約9分
「蓬莱橋」下車、徒歩 約5分
-徒歩 約20分
-車 約7分



アクセス
詳細はこちら

From Aomori Airport:
- 60 minutes by car
- take Konan Bus 55 minutes to "Hirosaki station"

From JR Ou Main Line "JR Shin-Aomori Station":
- 40 minutes to "JR Hirosaki Station"

From JR Hirosaki Station:
- take Konan Bus 9 minutes to
"Horai-Bashi" and walk 5 minutes
- 20 minutes by walk
- 7 minutes by car

休館日: 火曜日

ただし4月26日 | 火 |、5月3日 | 火 |

および8月2日 | 火 | は開館

開館時間: 9:00-17:00 (入場は閉館の30分前まで)

*本展は強いストロボ効果を使用しておりますので、心臓の弱い方やペースメーカーをご使用の方などご注意ください。
*会期中の関連イベント情報については、詳細が決まり次第当館ウェブサイトやSNS等でお知らせいたします。

| 観覧料 [税込] |

一般 1,300円 (1,200円)

大学生・専門学校生 1,000円 (900円)

* () 内は20名様以上の団体料金

*以下の方は無料: 高校生以下の方、弘前市内の留学生の方、満65歳以上の弘前市民の方、ひろさき多子家族応援バスポートをご持参の方、障がいのある方と付添の方1名

主催: 弘前れんが倉庫美術館

特別協賛: スターツコーポレーション株式会社

協賛: 株式会社大林組、株式会社NTTファシリティーズ

後援: 東奥日報社、デーリー東北新聞社、陸奥新報社、

青森放送、青森テレビ、青森朝日放送、エフエム青森、

FMアップルウェーブ、弘前市教育委員会

協力: 180 Studios、TARO NASU

Closed: Tuesdays

Open on Tue, April 26, May 3 and August 2

Opening hours: 9:00-17:00

(Last admission 30 minutes before closing)

Warning: Strobe effects in the works may affect those with medical sensitivity to strobe effects and/or heart conditions.

Admission [tax included]:

Adults 1,300 yen (1,200 yen)

University & College Students 1,000 yen (900 yen)

* () Price for a group over 20 people

Free of charge for high school students and under; international students in Hirosaki city; citizens of Hirosaki over 65, the disabled and one accompanying attendant

池田亮司

1966年岐阜生まれ、パリおよび京都在住。国際的に活躍する作曲家／アーティストとして、電子音楽の作曲を起点としながら体験としてのアートを提示する。音やイメージ、物質、物理現象、数学的概念などの様々な要素の精緻な構成を用いて、見る者／聞く者の存在を包みこむライブ・パフォーマンス、インスタレーションを発表している。2018年には自身のレーベル「codex | edition」を立ち上げた。アルスエレクトロニカがCERN (欧州原子核研究機構) と共同創設したCollide@CERN Award受賞 (2014年)、第70回芸術選奨文部科学大臣賞 (メディア芸術部門) 受賞 (2020年)。

弘前れんが倉庫美術館

〒036-8188 青森県弘前市吉野町2-1

Tel: 0172-32-8950 www.hirosaki-moca.jp

当館に駐車場はございません

お車の方は近隣の有料駐車場をご利用ください

*観覧料割引駐車場: 2名様まで100円引きになります。

上土手町駐車場、アウトエア弘前、したどてスカイパーク、三井のリパーク弘前桶屋町、三井のリパーク弘前桶屋町第2

Hirosaki Museum of Contemporary Art

2-1 Yoshino-cho, Hirosaki City, Aomori, 036-8188 Japan

Tel: +81-172-32-8950 www.hirosaki-moca.jp

弘前れんが倉庫美術館